

受験勉強について

① 受験勉強は復習

方法：定期テスト対策と同じことをすればいいです。

基本的な事項（太文字とその説明）を覚えれば、ほとんどの大学で合格ラインに届きます。覚えたかのチェックは**基礎問題集**を購入して活用しても良い。

※問題集は細かすぎないものがよいです。サブノート形式やセンター試験用（正誤、4択式）は避けた方がよいと思います。

更に、模試の復習を利用して、基本事項ではない新しい知識を獲得します。

② いつ始めるのか

早い方がいいですが、一概には言えません。自分の現在の学力、志望校、受験方式を考慮して、世界史が必要になるかを考えなければなりません。個別の相談にもものるので、迷う時は言って欲しい。

③ 休校中・夏休み

時間があります。英国 2 教科では逆に飽きてしまい勉強時間がのびません。3 教科目をやっても、英国の学力伸張には影響はありません。世界史の必要な人はこの休校中からがんばろう。

以下は受験に関する心構えです。

(ア) ペースを決めて復習すること

2 年次に勉強した範囲は夏休み明けまでには復習を終えないと厳しいです。例えば復習するページ数が 200 ページなら夏休み終了までは 5 ヶ月ありますので、1 ヶ月で 40 ページ、1 週間で 10 ページほどになります。できない数字ではないと思います。特に夏休みは時間がありますので、多少のペースの遅れは取り戻せます。

(イ) あせったり、不安がっても合格は近づかない（不安がないのはやってないから）。

勉強をすすめると必ず不安になります。やればやるほど、自分の弱点が見えてくるのであたりまえの現象です。この不安は乗り越えないといけません。「現代社会に変えようか」などと科目変更の考えもでてきます。平常心でやるだけです。やりければ世界史でよかったと思えます。また、現役生の場合、復習が追いつかず、模試ではなかなか偏差値はあがりません。更に、社会科は一通りやった浪人生が圧倒的に有利です。勝負は本番の 2 月と考えてひたすら復習することです。

(ウ) 3 年の定期テストは丁寧に

3 年の範囲はなかなか復習する時間がとれません。完璧を目指して丁寧な学習に心がけよう。

世界史担当 和田 直明